

町工場から新鋭工場へと駆け上がってきた努力の歴史



おかげさまで創業80周年

平岡工業株式会社

専務取締役

ひらおか りょうすけ
平岡 良介

昭和12年創業の当社に、大きな転機が訪れたのは昭和30年。自動車用・産業用金型を製作する「金型製造部」を新設し、これが現在に至る事業の柱となりました。その10年後には「BSタイプ切断折曲機」を開発。機械メーカーともなり、金型も機械も製作できる技術力が評価され、当社への信頼度は高まりました。

最近では平成18年、楠木工場と吉田工場を統合して安佐南区伴南セントラルシティに新本社工場を建設。翌年にはISO9001を取得して、町工場からの脱却を果たしました。

平成24年、タイに当社の現地法人を設立。社長である父は、現在、このタイの法人に常駐しています。

私は、社長がタイに赴任する2年前から本社を預かり、運営させてもらっています。

実は、私は社会人1年目までミュージシャン志望で、機材も揃えていました。23歳で入社後は、機材を本社2階に保管していたところ、音楽好きが集まって、保管庫は現在、スタジオになっています。演奏の様様をYouTubeにあげると予想外の反響がありました。リクルートにも好影響が出て、今では全社員の約半数が楽器を扱える社員で、社員の定着率も非常に良好です。

最後に——マツダスタジアムに掲げられる当社製作のフォトレリーフ「カーブの星」シリーズ。先日、最新版として黒田博樹さんのレリーフ披露がありました。設置はもう少し先とのことなので楽しみにしてください。

DATA

- 社名 平岡工業株式会社
- 所在地 広島市安佐南区伴南2丁目5-19-31
- 創業 昭和12年4月
- 事業内容 金型、切断折曲機、治具・部品、フォトレリーフの製作
- 資本金 1,000万円
- 従業員数 35人

原点 genten 快喜 kaiki

化学業界の老舗企業・日本曹達の“専門商社”



おかげさまで開設50周年

日曹商事株式会社広島営業所

所長

おおた よしき
太田 義樹

2年後に創業80周年を迎える当社は、日曹グループの化学専門商社。親会社の日本曹達(本社・東京)は、化学工場向け苛性ソーダ・塩素など基礎化学品、医薬原料や農薬など医薬・アグリビジネス、液状樹脂・半導体材料等の機能性化学品などのほか、身近な商品では便器の尿石防止剤(黄色い球)がトップシェアを維持し、プールの殺菌剤を日本で最初に開発——化学薬品を幅広く製造する業界の老舗企業(3年後に創業100周年)です。

日本曹達傘下の当社は、グループの一員として経営基盤は安定していますが、現在、取扱商材の約6割はグループ以外の製品です。それは親会社の信用を基に、グローバルな時代に取り先のニーズを多角的に捉え、各分野のエキスパートによる総合力のある商品提案を行っているからだだと思います。その中

で当社独自商品として工場や大規模建物用冷温調用の2次冷媒“ナイブライン”は業界では定評です。また蒸散性殺虫剤の“殺虫プレート”は当社子会社で製造しています。樹脂成形工場の子会社も持ち、幅広い商材を扱っていますが、商社としての足腰を強くするためにも、商材を偏ることなく幅広くニーズにお応えすることに注力してきました。

私が赴任してちょうど2年になる今年4月、広島営業所は開設50周年という大きな節目を迎えます。今、強く感じるのは「先輩方が半世紀にわたり、この広島でやってきたことに間違いはなかった」ということです。と言いますのは、近年、同業者の出先機関の多くが広島から撤退していく中、当営業所はしっかりと根付き、信用を得ています。その事実が私たちスタッフに自信を与えてくれています。

DATA

- 社名 日曹商事株式会社広島営業所
- 所在地 広島市中区八丁堀15-10
- 開設 昭和42年4月
- 事業内容 化学工業薬品、石油化学製品、合成樹脂、非鉄金属、産業機器・装置、建設関連製品など
- 資本金 4億116万5,000円
- 従業員数 5人(地区)161人(全国)

注：取材日以降、人事により名古屋に異動され4月から渡邊浩朗氏が新所長に就任されました。